

にどんどん付けています。

一ツ田 愛知万博の協賛事業で「風サミット」をやると聞いたのですが、どのようなことをやる予定ですか？

市長 全国で風力や自然エネルギーに力を入れている市町村が80ほどありますので、こうした方々や、学者の先生やメーカーの皆さんに大勢集まっていただいて、3日間で自然エネルギー利用の研究や効果を上げるための会合やシンポジウムや施設見学を行おうと思っています。学校の皆さんも協力してくださいね。

一ツ田 はい。ありがとうございます。

鈴木 僕は、吉胡貝塚について調べてきたのですが、縄文時代の人骨がたくさん発見されたこの貝塚を、これからどのように整備していく予定がありますか？

市長 吉胡貝塚は、鈴木くんが言われたように縄文時代の日本を代表する貝塚ですので、大事に保存していきたいと思っています。ちょうど今、関係の皆さんが検討しておられますけど、文化財の保護を進めながら、なおかつ楽しみながらいけるようにということ、3つのゾーンに分けて保存をしていこうと思います。史跡ゾーンでは、たくさんのが発掘された場所に芝生などを植えて荒れないように保存しながら、貝塚の層などが見学できるようにもしてい

きたいです。体験ゾーンとして昔の人の暮らしを体験できる場とか、施設ゾーンとして皆さんが勉強できる場所をつくっていいかなと思っております。この地方を代表する貝塚ですので、これは田原の誇る文化財だと思いますね。

鈴木くんは、吉胡貝塚のことを調べて、何か発見がありましたか？

鈴木 はい。

市長さん、こんなふうに吉胡貝塚のことを若い人たちにもっと知ってもらいたいですね。

市長 そうですね、もっと関心を持っていただけたらと思います。私たちが子どもたちのころには、雨が降ると貝塚へ走って行ったのです。なぜかという、雨が降ると新しい層が出てくるので、矢じりや石器が拾えたのです。当時は、それを友だち同士で見せ合ったりしたものです。そういうことも今では問題がありますが（笑）、昔はそんな身近な場所でしたね。

鈴木 ありがとうございます。

荒木 私は、年々砂浜が狭くなつて、津波などが来ると危ないと思います。先日地震が来たときも津波警報が出て、心配だったのですが、何か対策をしていますか？

市長 太平洋岸と三河湾両側に海を持つておりますので、津波のこ



すずき ゆうだい
鈴木 雄大くん
田原中学校 3年生

今日はすごい緊張したけど、だんだん楽になってきて、いい体験ができました。市長さんは積極的な方で、いろいろ聞いてくれてよかったです。今年は、自分で達成感が残るような年にしたいです。

とは心配をして対策を取っております。津波が発生すると気象庁が津波情報を出して、同時に気象衛星を通じてこちらに情報が入り、太平洋岸・三河湾両岸を含む市内一斉にサイレンと放送が流れます。特に、太平洋岸はサーフィンを楽しむ人がたくさんありますから、まずは避難することですね。東海地震、東南海地震が同時に起きた場合は、4メートルくらい津波が来るのではないかとわかれておるんですけど、赤羽根港を除いて、それ以外は高いほうがある太平洋岸では越水の心配はないと思います。むしろ、先端の渥美町は低いところがありますので、そちらの方が心配です。そうしたことで、津波については、発生と同時に情報が皆さんに伝わって、避難してもらうことができる

ような装置を整備しています。

荒木 地震が発生した後は、市ではどんなことをしますか？

市長 規模にもよりますが、大きな地震が発生しますと、初めに市内がどんな状況になっているかということ把握はしません、いろいろな手が打てません。密集地は火災や建物の倒壊が予想されますので、火災の防止や被災者の救護を最初に行いまして、次に避難所の開設や医療体制を整えるなどします。それから生活のインフラ、これは水道や下水道のことですけども、そうしたものの被害の状況を調査したり、避難所に食料や毛布を配布したり、道路の復旧をしたりと、順次やっていくようになると思います。

荒木 地震の時、避難場所になるのは主に中学校などですが、何ら